

注目の「CBD」とスーパーフルーツ「ノニ」をミックスしたドリンクが登場！ 『タヒチアンノニ CBDショット』新発売 「CBD+ノニ」の組み合わせは世界初！体の最適な状態をサポート

モリンダ ジャパン 合同会社(所在地:東京都新宿区 代表:黄木 信)は、リラックス成分「CBD(カンナビジオール)」とスーパーフルーツ「ノニ」を配合した世界初の「CBD+ノニ」飲料『タヒチアンノニ CBD ショット』を、2月21日(金)より先行販売、3月2日(月)正式発売いたします。



新製品『タヒチアンノニ CBD ショット』は、「CBD+ノニ」のこだわりぬいた組み合わせで、健康で生き生きとした毎日をサポートします。「CBD(カンナビジオール)」とは、アサ茎由来の植物栄養素であり、ストレスなどで過剰になった神経を落ち着かせるリラックス効果など、健康面でさまざまな可能性が期待され、現在世界中で注目を集めています。このリラックス効果はCBDのECS(エンド・カンナビノイド・システム:全身の恒常性を保ち、健康を維持するための身体調節システム)の働きを正常化する作用に起因するもので、スーパーフルーツ「ノニ」にはECSの活性をより促す効果が期待されます。

さらに、ぶどうやりんごもブレンドしているため、酸味と甘みのバランスも良く、果汁感あふれるテイストで毎日楽しむことができます。いつでもどこでも手軽に飲んでいただくことで、体の最適な状態をサポートします。

同日 2月21日、リニューアルオープンの新宿「タヒチアンノニ カフェ」でも単品販売します！

『タヒチアンノニ CBD ショット』の先行販売日である2月21日(金)は、新宿のモリンダ ビルディング 1Fの「タヒチアンノニ カフェ」もリニューアルオープン。ジュースバースタイルで、「CBD+コーヒー」や「ノニ」を使ったオリジナルドリンクなどを提供するほか、『タヒチアンノニ CBD ショット』も1本から販売いたします。詳細につきましては、以下公式サイトをご参照ください。

公式サイト: <https://tncafe.jp/>



報道関係各位のお問い合わせ先

モリンダ PR 事務局 (担当:高柳・大木・松葉)

TEL:03-4580-9106 FAX:03-4580-9132 MAIL:morinda_pr@prap.co.jp

【製品情報】

■タヒチアンノニ CBD ショット



正式発売日 : 2020年3月2日

※先行販売

① 2月21日～28日: 1箱(30本入)、4箱(120本入)をキャンペーン価格(15%OFF)で販売

② 2月21日～全国のモリンダ ショップにて単品、10本パックを販売。タヒチアンノニ カフェにて単品販売

内容量 : 1本 50ml

希望小売価格(税込)

単品(1本): 画像左 980円 ※タヒチアンノニ カフェ、モリンダ ショップで販売

10本パック: 画像中央 9,900円 ※モリンダ ショップで販売

1箱(30本入): 画像右 25,100円 ※2020年2月21日～28日は21,500円(15%OFF)

4箱(120本入) 87,000円 ※2020年2月21日～28日は74,000円(15%OFF)

- ・世界初！タヒチ産ノニと高品質の CBD を組み合わせた清涼飲料水
- ・ぶどうやりんごも配合し、フルーティーで甘酸っぱいテイスト
- ・高品質の CBD (THC フリー) 原材料のみを使用

【原材料】

果実(ぶどう(アメリカ産)、リンゴ(チリ産)、モリンダシトリフォリア(ノニ)(フランス領ポリネシア産))、エリスリトール、ヘンプ茎エキス/クエン酸、香料、ヒマワリレシチン、甘味料(ステビア)

※注意事項: 持病のある方、妊婦・授乳中の方、18歳未満の方はお控えください。

—ご参考—

CBD の安全性と期待 / 佐藤 均 (昭和大学薬学部 教授)

人間の体内には、免疫機能、運動機能、神経機能、細胞機能などを滞りなく発揮するために、種々の身体調節システムが備わっています。そのうちのひとつが ECS (エンド・カンナビノイド・システム) であり、全身の恒常性を保ち、健康を維持するため、いわゆる体内の交通整理 (細胞間コミュニケーションの制御) を行っています。しかし、加齢やストレス、生活習慣等が原因で ECS のはたらきが弱ると『カンナビノイド欠乏症』となり、あちこちでエラーが起こります。これがいわゆる体調不良及び種々の疾患の初発症状です。しかし、CBD を摂ることで ECS の働きを取り戻せる可能性があります。ストレスは万病のもとといいますが、CBD はストレスなどで過剰になった神経を落ち着かせる作用もあるのです。世界保健機関 (WHO) も、てんかんの発作を筆頭に、不眠症、種々の痛み、食欲不振、吐き気、皮膚炎、統合失調症、抜け毛、アルツハイマーなど、100 近くの疾患に関して、CBD に関する有効性と安全性を評価しています。身近な使用体験としても、CBD を摂って眠りの質が良くなったと答える方が多いほか、夜中にトイレで何度も起きる、不安で眠れない、眠りが浅いといった症状が改善されたという声が多くあります。CBD はこれから美容、健康、医療など多方面において、有効活用できる可能性の高い成分だと言えます。

近年、日本国内でも CBD を配合した製品が増えているため、消費者は選択に迷うことが多いと思いますが、信頼できる第三者機関で分析され、THC の他に残留農薬や重金属が確実に基準値以下である製品を選択する必要があります。また、大麻取締法の関係で、我が国で流通できる CBD 商品は、成熟した茎及び種から抽出された CBD 原料から製造されたものに限り、米国や EU から直接輸入された商品は、違法性に問題があることがありますので、この点も十分に留意して安全かつ合法的な製品を選択していただきたいと思います。

佐藤 均 (サトウ ヒトシ) ※本資料へのコメント・監修

昭和大学薬学部教授。薬学博士・薬剤師。1959 年生まれ。
東京大学薬学系研究科 (製剤学教室) 修士課程修了後、金沢大学薬学部助手、
富山医科薬科大学付属病院薬剤部助手、アメリカ国立衛生研究所 (NIH) ・
ガン研究所 (NCI) 奨励研究員、スイス・パーゼル研究所 (Sandoz Pharma)
客員研究員を経て、東京大学医学部助教授となる。2000 年から昭和大学薬学部教授
(臨床分子薬品学教室)。現在は同大学の基礎医療薬学講座 薬物動態学部門を担う。
『カンナビノイドの科学 (日本臨床カンナビノイド学会【編】)』

